



「里浜」って何？

従来の施設整備中心の反省に立ち、
海辺を地域の人々の共有空間(コモンズ)として認識する。
それが里浜です。

1. 「里浜づくり」とは

- 海辺と自分たちの地域とのかかわりについて考え、議論する、その行動が「里浜づくり」のはじまり
災害被害の低減や生物保全、地域らしい風景を守ることを考えよう
- 「里浜づくり」へ寄せる想い
～海岸のハードも含めた提案を、県、地方整備局が受け止められる前向きな体制づくりが大事～
東京大学大学院 総合文化研究科 清野聡子
～みちしるべを読んで、その行間にある「里浜守人」とは何かを知ってほしい～
三番瀬研究会 代表 小埜尾精一
～今後とも、人と海辺とのふれあいの場として、地域を巻き込んだ里浜づくりに取り組んでいきたい～
大分県土木建築部 参事兼港湾課長 山路茂樹 等

2. 「里浜づくり」の実際(経験談と事例紹介)

詳しい事例を通して里浜づくりの手がかりを紹介。
主人公たちの生の声も収録。

- 中津港海岸 地域住民と行政が協働し、海岸整備計画を変更
- 奈半利港海岸 珊瑚を活用した観光事業の展開と、
海岸に興味を持った地域住民による自主防災の検討
- 木野部海岸 地域住民・行政・専門家が対等に協働し、地域全体を見据えた海岸の整備
- 琴引浜 「泣き砂」から始まった、地域住民の継続的な活動と、町の日常的な海岸管理

でも、どうやれば良いのか分からない！
実際にどんな取り組みがなされているの？

3. 「里浜づくり」の実践に向けて

事例等から得られる「里浜づくり」のヒント・アイデア、
行政関係者に期待される取り組み方などを体系的に紹介。

里浜づくりに王道はありません。
「みちしるべ」を参考に実践あるのみ！



(1)「気づき」のきっかけを生かそう

海岸の変化や新たな価値に「気づく」ことが里浜づくりのきっかけになります。

(3)仲間をつくろう

運動を軌道に乗せるには仲間が必要。個人の考えや思いをいろんな人と議論し、共有しましょう。

(5)目標を実現するため、行動計画をつくってみよう、 施設整備計画づくりにも参加しよう

里浜を利活用するための行動計画を作りましょう。



(2)地域を学ぼう

発見した価値や問題について、その理由や海辺と人々とのつながりを学習してみましょう。

(4)今、何をしたいか、何ができるか、 考えをまとめてみよう

自分たちの考えを整理し、地域の里浜像を検討してみましょう。具体的な目標が見えてきます。

(6)活動してみよう、実践してみよう

何よりもまず、第一歩を踏み出し、できることから始めましょう。活動の継続で仲間の輪や交流が広がります。



海辺と人々のつながりの回復 = 里浜

～資料編～

先行事例・団体の紹介(HPアドレス)や、里浜づくりを支援する各種制度・助成 等